

おokayamaの美しい海、海ごみクリーンアップ事業

1 事業の概要

瀬戸内海の家ごみは、河川等を通じて流れ込む生活系のごみが大半を占め、海洋環境に影響を及ぼしていることから、県民一人ひとりがごみをポイ捨てしない意識を持ち、発生抑制を図るとともに、回収等の実践行動を行うことが重要です。そのため、県下全域の市町村や、経済団体等と連携して海ごみ対策に取り組んでいます。

2 令和5年度実績

① 岡山県海ごみ対策連絡調整会議

県、市町村、経済団体等で構成した連絡調整会議において、海岸漂着物等（漂着ごみ、漂流ごみ、海底ごみ）の家ごみ対策をより総合的かつ効果的に進めるため、各構成員の取組についての情報共有やワーキング会議を実施するとともに、次年度以降の取組について共通の方針を採択しました。

（連絡調整会議）

第1回：令和5年7月11日（火）@岡山県庁分庁舎

第2回：令和5年9月22日（金）@岡山県立図書館

（ワーキング会議）

第1回：令和5年8月22日（火）@サンビーチ OKAYAMA

第2回：令和6年3月21日（木）@岡山県立図書館



連絡調整会議



ワーキング会議

② 海ごみ・プラごみ削減フォーラム

海ごみ発生抑制の意識の醸成や、海ごみ対策の活性化を図ることを目的として、県内外で活動する団体や企業、学校などがそれぞれの取組を紹介するブース展示（30ブース程度）のほか、海ごみ問題に関する基調講演やパネルディスカッションなどを行うフォーラムを開催しました。

開催日：令和6年2月23日（金・祝）

場所：岡山コンベンションセンター 1階イベントホール

参加者数：約300名



基調講演



ブース展示

③ 用水路・海ごみ回収ロボットアイデアコンテスト

海ごみ問題の現状を自分事として捉えてもらい、削減に向けた意識の定着を図るため、高校生等を対象に「現地見学ツアー」と「アイデア発表会」で構成するコンテスト形式のイベントを実施しました。

(i) 現地見学ツアー

開催日：令和5年8月26日（土）

見学場所：笹ヶ瀬川河川敷（岡山市南区）、鹿久居島（備前市日生町）

内容：講師が同行し、海ごみ問題について学習

笹ヶ瀬川河川敷では10分程度の清掃活動を実施

(ii) アイデア発表会

開催日：令和5年11月26日（日）13時30分～15時30分

場所：岡山国際交流センター8階イベントホール

審査員：ロボット関係学識者など4名

審査結果：最優秀賞1名、優秀賞2名、入選1名



現地見学ツアー



アイデア発表会

④ 河川ごみ等回収・発生抑制モデル（地区拡大）事業

ごみの回収活動が「自発的」「継続的」に行われるよう、町内会や学校等において、地域の実情に応じたごみ回収活動のシステムづくりを行いました。

モデル内容	場所
学校× 町内会（公民館）	R4：操南中×町内会 岡大附属中×地元団体 R5：旭東中・上南中×上南公民館 鳥城高×京山公民館 福田中×福田公民館
定例会に合わせた 清掃活動	倉敷医療生活協同組合
用水路にごみ回収 ネットを張り、日常 的にごみ回収する 体制構築	R4：倉敷市内 R5：岡山市内



⑤ 河川ごみ等回収促進事業

個人や団体、企業等による河川等における清掃ボランティア活動が一層活発化するよう、市町村と連携した回収後のごみの運搬、処分や事前の草刈りを実施しました。

※ 一定規模以上（45ℓ ゴミ袋で概ね 50 袋以上回収見込み）の清掃活動に限る。

（i）河川ごみ等の運搬、処分費用の負担

市町村等が河川等管理者や清掃ボランティアからの依頼に基づいて行う回収後の河川ごみ等の運搬、処分に要する経費について、県管理エリアの内外にかかわらず、県が負担。（令和5年度：12件）

（ii）事前準備としての草刈り（県管理地）

（i）の対象規模以上の清掃活動が行われる場合、進入道路等部分的な草刈りを行う必要がある際には、県が草刈りを実施。（令和5年度：2件）



⑥ 令和5年度漂着ごみ回収・調査事業

海ごみの削減施策を立案し展開をするためには、漂着ごみの実態把握が必要であるとともに、削減の施策の効果検証について、継続的に調査をすることが必要であることから、県内 27 か所において漂着ごみの目視調査を実施し、うち 3 か所については回収及び組成調査も実施しました。

3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班